



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

平成三十一年も皆様にとって、良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。

御礼の供養

住職 平田真純

暮れから正月、節分にかけて、当山でも行事が目白押しで、特に一月七日の^{だいほんにや}大般若講大根まつりは新年吉例の大祭であり、聖天様のお下がりの大根を火にかけたふろふき大根はすっかり正月の風物詩として定着し、例年多くの参拝で賑わいます。今年も昨年に引き続き、日本舞踊西川流家元 西川箕乃助様による神楽殿での奉納演舞で行事を盛り上げていただける予定です。その約二週後の一月二十日は、古くからの恒例行事

^{ひやくみ}の百味講が執行されます。たくさんのお供物を聖天様の御宝前にお供えし、日頃の^{くどく}功德に対する感謝の気持ちを表す法要を営む行事です。もちろんこの法要の趣旨は、ただごちそうを並べて接待するというようなものではありません。見返りなど求めず、聖天様に喜んでいただけるよう心から供養することが本義です。聖天様の信仰においては、祈願するのと同様に、いやむ

しろそれ以上に御礼というものはぜひとも大切な心構えです。

神仏への供養とか奉納というものは、モノや行動で喜んでいただくだけでなく、供養した者がスツキリとすがすがしい気分になって参拝・祈念することで、なお一層神仏は喜ばれ、さらに広く、個人的にはさらに深くご加護をいただけることに意義があります。

百味講は、待乳山における聖天様への報恩感謝・御礼の代表的行事ですが、他の機会に行われる百味供養法要、大般若法要や浴油祈祷での祈願、大根等の供物を供えること：等々、すべて供養ということでは同じ意義が含まれます。邪念はなければいほど良いといえるでしょう。

西川様の舞も、同日に奉納される^{えどさとかがら}江戸里神楽も聖天様への供養です。ふろふき大根を召し上がったいただくのも聖天様への供養です。皆様が楽しまれ、その和やかな気持ちをもってご参拝いただければ、なお一層、聖天様はお喜びになられるでしょう。そしておのずと感謝の気持ち、御礼の気持ちは、皆様にとっても喜びとなり、さらなる功德をいただけることでしょう。

待乳山便り



御宝前にてお加持を授けられました。

尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。

堀端亮吾くん



平井智康くん



井田奈奈ちゃん



尾崎葉乃ちゃん



櫻井七那ちゃん



渡辺美佐子ちゃん



柴田けやきちゃん



廣本壮真・乃土くん



御奉納

福田廣光様より敷石が奉納され、スロープカー横の階段の前に設置されました。トイレ駐車場への通路が歩きやすくなりました。ありがとうございます。



写経供養会 報告

十一月十一日、写経供養会四十周年記念法要が執り行われました。今年度、皆様がお書きになられた写経を御宝前にお供えし、大般若法要でご供養しました。法要後は今まで写経の会のために尽力された世話人の皆様と、各巻を達成された左記の方々の表彰が任職より行われました。

写経世話人
三崎登子 丸橋洋子 小林敦子 白井美智子
長谷川美智子 木内まさ子 阿部左知子



平成三十年写経供養会表彰者

三百五十巻 小林敦子

三百巻 長谷川美智子

二百五十巻 佐々木芳江 阿部珠紀

二百巻 鈴木志津子

百五十巻 百田尚子

百巻 吉井潤子 菅井紀子 清田えり子 石川英子

五十巻 森山治彦 蒔田供子 張替信子

吉岡広太郎 桂川たか 大場衛 石塚美由紀

小柳治子 青山陽子 青木典子 會澤廣子

渡部洋子 (敬称略)

干支(亥年)について

平成三十一年の干支は亥(いのしし)になります。猪武者、猪突猛進と言った言葉があるように、周囲を気にせず真っ直ぐ進む、荒々しいイメージがある猪ですが、古くから人間と関係がありました。日本では古くから狩猟の対象として捕獲され、倒した猪は山の神からの賜物だとして集落で分配されました。

また多産であることから豊穰の象徴でもあったようです。縄文時代の遺跡や古墳からは猪を模した土器や埴輪が数多く見つかっています。旧暦の十月の亥の日に餅をつく「亥の子餅」の習慣は、秋の収穫のお祝いであると同時に、イノシシの多産にあやかるものといわれています。

今年も待乳山では今戸焼干支人形は三千五百円にて授与しております。今年の干支人形は、「平安亥」という、猪が平安時代の貴族を背に乗せた少し変わった人形となっております。皆様のご多幸を願う縁起物の人形ですので、こちらもぜひお求めください。



節分会 年男募集いたします。

年男とは、その年の歳神様をまつる家長の役目とされています。また干支生まれの方や、厄年の方も除災招福を祈って、ふるってご参加ください。寺務所にてお申し込みください。

正月の御縁日大法要・行事紹介

初詣

元旦は、午前0時に半鐘の合図で本堂を開堂いたします。また午前二時から今年最初の浴油祈禱を厳修いたします。

元日からのご祈禱は午前一時半までにお申し込みください。また、お正月期間限定の吉例の巾着守をお授けします。

お屠蘇接待

三が日

三が日の間、本堂において信徒総代、世話人より当山名物の開運お屠蘇と、お子様にはお菓子の接待がございます。お参りがお済みになりましたら、ぜひお召し上がりください。

特別即時祈禱

三が日

三が日の午後一時、二時、三時より、特別即時祈禱を厳修いたします。所定の時刻になりましたら、申し込みされた皆様に入っていましたら、行者が新年の開運を祈願します。お守りはその場でお授けいたします。時間帯によっては混雑が予想されますので、時間に余裕をもって本堂にいらしていただくようお願いいたします。祈禱料 三、〇〇〇円也

毘沙門天特別拝観

普段本堂の奥でおまつりしております浅草名所七福神の毘沙門天様を、内陣左手手前の仮座におまつりします。直接お参りできますので、ぜひご参拝ください。

大般若講 大根まつり

一月七日(月) 午前十一時から午後一時半

講金二、〇〇〇円

大般若講大根まつりを執行いたします。まず十一時より本堂で大般若経を次々と転読する大般若法要を厳修し、皆様と今年一年の家の安全をご祈願致します。法要終了後、参道にて風呂吹き大根が振舞われます。



当山では昭和四十九年より、毎年正月七日に大根まつりを行い、元旦以来御供えされた大根を風呂吹き大根にして、お神酒と共にご参拝のみなさまに召し上がっていただいております。

御供えすることによって清められた大根のお下がりをいただくことによりその功德を一層頂戴し、身体と心を健康にさせていただきます。

今年度から本堂にて配布していた整理券は廃止いたしました。ご参詣を済ませてから、順番に列にお並び下さい。風呂吹き大根は二千食限定となり、なくなり次第終了となります。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

百味講

一月二十日(日) 午前十一時

講金一、五〇〇円 (籠供物二、五〇〇円)

聖天様に日頃の感謝をお伝えする百味講法要を行います。

百味講では、百味の名前の通り、聖天様の御宝前に灯明や香華の他に、野菜や果物菓子といった多くの味覚をお供物として供えます。その後、僧侶が声明を称える中、導師が聖天様を供養いたします。



御礼というとか特別な心願が叶った時のみに感謝を伝えなくてはならないと考えがちですが、そうとは限りません。私達が無事平穏の中に過ごしているのは、私達が気づかぬ内に聖天様、諸仏諸天の加護を受けているからに他なりません。そうした加護に改めて感謝の意を示すことで、聖天様とのお縁がますます深まり、より大きなご利益を頂くことができますでしょう。

法要終了後にはお申し込みをされた皆様にご宝前にお供えしたお供物をお授けいたします。中でも色鮮やかな籠供物は籠の中に様々な和菓子の入れた特別な供物になります。十個限定となりますので、事前にご予約ください。

西川流奉演舞踊のお知らせ

一月七日(月) 正午頃より



日本舞踊五大流派のひとつである西モダンダンス・バレエ・舞踊理論を専攻するという異色の経歴を持つ。NHK大河ドラマや映画などの所作指導、宝塚歌劇等、舞台の振付も手掛けている。松尾芸能信心賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

西川箕乃助プロフィール

早稲田大学卒業後、ロンドン大学SOASへ留学。

一月行事予定



初詣

元旦(祝)

午前0時 開堂

三が日、本堂で開運のお屠蘇を無料接待。午後一、二、三時には特別祈禱を執行。

大根まつり 大般若講

一月七日(月) 午前十二時 大般若講講金 二、〇〇〇円也

身体健全を願う、名物風呂吹き大根をお召し上がりください。

百味講大法要

一月二十日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

たくさんのお供物をお供えし、僧侶の声明とともに、尊天様をご供養いたします。

朝まいり会

一月八日〜十四日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。十四日には御齋食と法要を行います。

日曜勤行

一月十三日(日) 午前九時 参加費 無料

初心の方も気軽に参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

一月十三日(日) 午前十時/午後一時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

午後の部は人が少ないため、落ち着いて写経が行えます。

合同大般若法要

一月二十五日(金) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

二月の行事

節分会

二月三日(日) 午後三時

浴油講

二月二十日(水) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法で

ある浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様

のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われ

るような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働き

を得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修

しております。寺務所にて受け付けておりますので、

お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙

でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万円(一週間)

浴油祈禱 三千五百円(一週間)

華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えす

ることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知らせになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。